

さぬき市男女共同参画プラン後期計画
推進施策の実施状況及び基本施策に係る各目標の進行状況
(平成23年度)

平成24年7月



目次

- ・ さぬき市男女共同参画プラン後期計画施策体系表

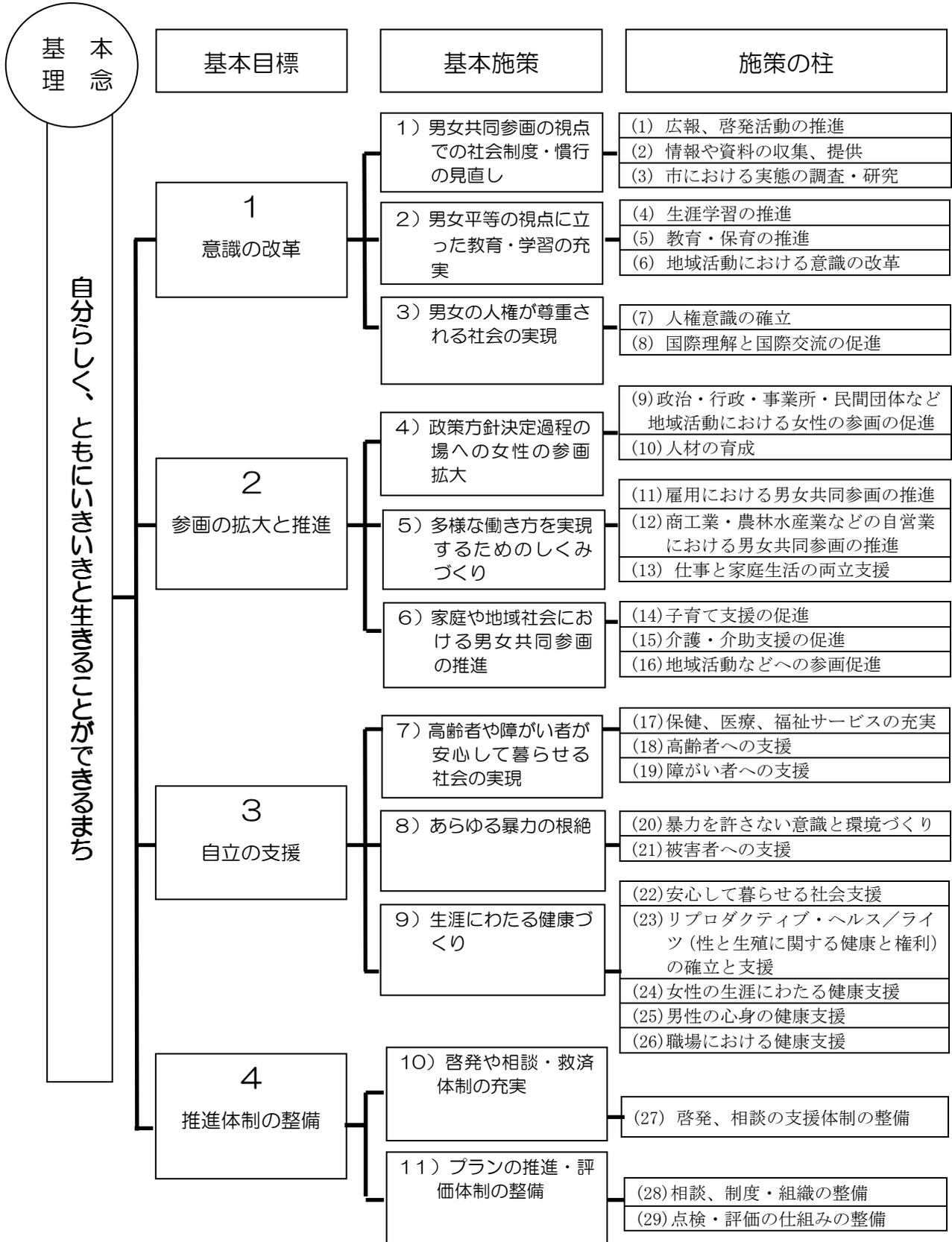
- ・ 推進施策の実施状況

基本施策 1 関係	・ ・ ・ ・ ・	P 1
基本施策 2 関係	・ ・ ・ ・ ・	P 2
基本施策 3 関係	・ ・ ・ ・ ・	P 3
基本施策 4 関係	・ ・ ・ ・ ・	P 3
基本施策 5 関係	・ ・ ・ ・ ・	P 4
基本施策 6 関係	・ ・ ・ ・ ・	P 6
基本施策 7 関係	・ ・ ・ ・ ・	P 8
基本施策 8 関係	・ ・ ・ ・ ・	P 9
基本施策 9 関係	・ ・ ・ ・ ・	P 1 1
基本施策 1 0 関係	・ ・ ・ ・ ・	P 1 3
基本施策 1 1 関係	・ ・ ・ ・ ・	P 1 3

- ・ 基本施策に係る各目標の進行状況

・ ・ ・ ・ ・	P 1 5
-----------	-------

さぬき市男女共同参画プラン後期計画施策体系表



「さぬき市男女共同参画プラン後期計画」推進施策の実施状況

基本施策	施策の柱	施策の内容	具体的取組	担当課	平成23年度の実績	平成23年度実績を振り返っての感想及び平成24年度の目標	事業費 23年度 決算額 (千円)	事業費 24年度 予算額 (千円)
1 男女共同参画の視点での社会制度・慣行の見直し	(1) 広報、啓発活動の推進	①男女共同参画社会形成のための情報提供	(1) 市広報紙に情報を提供	政策課	6月号：市民企画啓発冊子PR 7月号：男女共同参画週間&パネル展及びミニイベント 11月号：女性に対する暴力をなくす運動及び男女共同参画セミナー	広報閲覧者からの問い合わせ等もあり、掲載の効果があつたと思われる。平成24年度も適宜情報提供をしていく。	—	—
			(2) 市ホームページに情報を提供	政策課	市主催の男女共同参画イベント等の広報依頼 前年度実績報告の掲載	ホームページ閲覧者からの問い合わせ等もあり、掲載の効果があつたと思われる。平成24年度も適宜情報提供をしていく。	—	—
			(3) CATVに情報を提供	政策課	本市主催の男女共同参画イベント等の文字放送での広報依頼。 取材素材として、パネル展・セミナー・講演会等の開催情報を提供	SCN視聴者からの問い合わせ等もあり、掲載の効果があつたと思われる。また、SCNニュースで放送されることによりイベント後の話題作りに効果があつた。平成24年度も文字放送及び取材依頼を行う。	—	—
	(2) 情報や資料の収集、提供	①情報や資料の収集	(1) 国、県、他の団体の動向の把握	政策課	HPの閲覧、新聞、配布物等で把握	他団体の先進的取組や、チラシのレイアウト等参考になった。今後も市の活動推進に生かせるよう情報入手に努める。	—	—
			(2) 啓発パンフレット・リーフレット等の配布	政策課	本庁・支所・出張所・パネル展・キャンペーン等で配布	街頭キャンペーンを実施し、積極的な配布が行えたと思う。今後も引き続き啓発に努めたい。	—	—
			(3) 男女共同参画に関わる図書・資料の充実	政策課	DVに関する絵本を1冊購入（パパと怒り鬼）	絵本を他課へ貸出する等した。その他はさぬき市図書館の蔵書を活用した。平成22年度作成の啓発冊子を今後も活用していきたい。	2	3
			②情報や資料の提供	政策課	(1) 男女共同参画パネル展の開催 6月23日～29日：本庁1階市民ホールにて 10月29日～30日：さぬき市文化祭寒川祭会場にて	6月のパネル展には、約179人の参加があつた。パネル展開催期間にイベントも開催し、集客アップを図れた。また、10月の文化祭の展示も好評であつたため、今後もこのような場を設けたい。	14	89
	(3) 市における実態の調査・研究	①市の実態調査	(1) アンケート調査の実施	政策課	実績なし	次期男女共同参画プラン策定前に実施する。	—	—
			(2) 意識調査などによる実態把握	政策課	パネル展・講演会・セミナーで参加者アンケートをとり、男女共同参画に係る意識とニーズを把握	前年度調査結果に沿って、子どもや男性も参加しやすいセミナー、講演会を開催できた。今後もアンケート調査結果を参考とした取組を進めていきたい。	—	—

基本施策	施策の柱	施策の内容	具体的取組	担当課	平成23年度の実績	平成23年度実績を振り返っての感想及び平成24年度の目標	事業費 23年度 決算額 (千円)	事業費 24年度 予算額 (千円)
2 男女平等の視点に立った教育・学習の充実	(4)生涯学習の推進	①生涯学習の充実	(1)男女共同参画に関する各種講座の開催	生涯学習課	さぬき市青少年育成市民会議と協賛し、男性の育児参加推進を含む家庭教育の推進のため、講演会を実施(2/5「伝えていますか?ぬくもり やさしさ おおらかさ~子どもの生きる力を育てるために~」講演会開催41人参加、夫婦での参加促進のため託児実施) 女性団体連絡会を通じて幅広い知識の習得により、男女共同参画社会づくり活動を促進 (8/18「男女共同参画による安全・安心なまちづくり~超巨大南海地震に備えて~」講演会開催100名参加・パネル作成)	講演会を実施することで、多くの参加者への学習機会を提供できた。また、各団体からの参加者の学びは、家庭、地域への学びにもつながっている。今後も、幅広い視野で学習機会を持ちたい。	—	100
			(2)青少年の社会体験・体験学習機会の提供	生涯学習課	実績なし	実績見込みなし	—	—
		②家庭・地域における教育の充実	(1)地域における指導者の養成	生涯学習課	学校支援ボランティアとして、寒川地区を中心に活動し、地域の教育力の向上を図る。養成講座を開催。(2回)	学校支援ボランティアとして、平成24年度は、寒川地区と、大川地区で活動し、地域の教育力の向上を図る。養成講座を開催。	10	60
	(5)教育・保育の推進	①教育者・保育者への研修の充実	(1)男女平等教育指導方法の研修・活用	学校教育課	県教委、県男女共同参画課、さぬき市が行う講演会等の事業を周知、参加を呼びかけた。	男女共同参画の意識は徐々に定着していると感じるが、これからは研修会等へ積極的に参加して、研修を深めていくよう促していく。	—	—
				子育て支援課	市、県、全国レベルの人権保育研修会等への保育担当職員の参加を促進し、その資料の回覧等により理解を深めることに努めた。	平成23年度においては当初の予定通り実施できたと考え。24年度においても23年度と同内容での実施に努める。	506	585
		②男女平等の教育・保育の充実	(1)男女平等意識を育てる教育・保育の充実	学校教育課	学校訪問の機会を捉えて、男女平等意識を高めるための望ましい指導方法について指導主事より、教員に指導を行った。	日々、一人ひとりを大切にしている活動内容から、子どもたちの男女平等意識は高いと思われる。引き続き、教科等の中で男女平等意識の高揚を図っていく。	—	—
			子育て支援課	前述の研修会等で学んだことを日常の保育に生かすことに努めた。	平成23年度においては当初の予定通り実行できたと考え。24年度においても23年度と同内容での実施に努める。	—	—	
		(2)人権作品の募集	人権推進課	人権習字(硬筆) 115点 人権ポスター 109点 人権標語 143点 人権作文 22点	幼・小・中学校(園)の園児・児童・生徒に対し、人権感覚を高めるための活動として、継続的に取り組む。	136	140	
	(6)地域活動における意識の改革	①地域活動における女性リーダーの登用の推進	(1)自治会など各種団体における女性リーダー登用の促進	生活環境課	自治会長 383人中 女性31人	自治会長に女性になる割合は、数パーセントにとどまっている。	49,647	49,800

基本施策	施策の柱	施策の内容	具体的取組	担当課	平成23年度の実績	平成23年度実績を振り返っての感想及び平成24年度の目標	事業費 23年度 決算額 (千円)	事業費 24年度 予算額 (千円)
3 男女の人権が尊重される社会の実現	(7)人権意識の確立	①情報における人権の尊重	(1)市内の出版物の発行に関するメディア・リテラシーの推進	政策課	平成21年度作成のチェックリストを引き続き配布した。	固定的役割分担意識に基づく発言の見直しについて呼びかけていく。	—	—
			(2)市が発信する情報における性別にとられない表現への留意	政策課	実績なし	平成21年度に配布した「広報・刊行物表現チェックガイド」等を参考に、各所属で自主的に留意している。	—	—
			(3)学校教育におけるメディア・リテラシー教育の推進	学校教育課	学校訪問・文書等において、情報の適切な取扱いを学校訪問等の機会を捉えて、指導した。	子どもたちが安全に安心して使用できるよう、年々情報量が増加しつつある状況の中で、正しい認識と理解を身につけていくように指導していく。引き続きメディアリテラシー教育の推進に努める。	—	—
	②人権教育の充実		(1)男女の人権を理解し尊重するための意識啓発	人権推進課	平成22年度に作成したパンフレットを企業・職員研修に活用	新たにパンフレットを作成し、女性の人権を含め、さまざまな人権問題に対する啓発を行う。	—	210
			(2)学校における人権を尊重する教育の充実	人権推進課	教職員・PTA等向けの情報提供 各校(園)における人権教育の推進と研修の充実	引き続き事業を実施する。	—	—
	(8)国際理解と国際交流の促進	①国際交流・理解活動の推進	(1)市民団体などによる国際理解活動と国際交流活動の推進	秘書広報課	・市内在住の外国人を対象とした日本語指導 ・韓国大田市小中高校生交流事業(さぬき市→韓国大田市)	引き続き、NPOや市民団体との連携強化を図り、その活動を支援することにより国際交流を推進していきたい。	267	197
			(2)海外派遣事業についての情報収集、提供の推進	生涯学習課	実績なし	実績見込みなし	—	—
		②国際的な情報の収集、提供	政策課	(1)国際的動向に関する情報収集や資料の提供	パネル展における新聞関連記事の展示	新聞記事等で海外の状況を知ること、日本の現状について再度考えてもらう機会が提供できた。今後も様々な情報を提供していきたい。	—	—

基本施策	施策の柱	施策の内容	具体的取組	担当課	平成23年度の実績	平成23年度実績を振り返っての感想及び平成24年度の目標	事業費 23年度 決算額 (千円)	事業費 24年度 予算額 (千円)
4 政策方針決定過程の場への女性の参画拡大	(9)政治・行政・事業所・民間団体など地域活動における女性の参画の促進	①政策への女性参画の推進	(1)行政委員会、附属機関等の委員への女性の登用促進	政策課	毎年1回登用状況調査を実施している	調査の実施で、委員改選時に女性の割合を意識する雰囲気づくりができています。	—	—
				生活環境課	委員数(延べ)400人 うち女性(延べ)127人	平成22年度に比べて女性の割合は増加している。 平成24年度は、委員改選をする附属機関等で女性を多く登用するよう指導する。	—	—
			(2)市議会への傍聴促進	議会事務局	議場を対面式に改修し、市民にわかりやすい環境づくりに取り組んだ。傍聴者数は延べ30人でうち女性が7人となった。	引き続き、市ホームページ上で一般質問通告書、審議内容等の事前公表を行うほか、今後は一問一答制を導入するなど、市民に開かれた議会を目指し取り組んでいきたい。	701	—

	②行政機関における女性参画の推進	(1)市職員の女性管理職の登用	秘書広報課	実績なし	—	—	—	—
		(2)市職員の研修機会の充実	秘書広報課	・ブラッシュアップ女性リーダー研修（市町村アカデミー） ・男女共同参画社会の構築研修（市町村アカデミー） ・女性リーダーのためのマネジメント研修（国際文化アカデミー）	平成23年度は受講希望者がいなかった。 24年度においても23年度と同じ科目の研修を実施予定である。	—	—	
	③事業所・団体などにおける女性参画の推進	(1)性別にとらわれない採用・配置・管理職登用などの促進	商工観光課	6月は厚生労働省が定める「男女雇用機会均等月間」であり、均等法の周知徹底とポジティブアクションの理解と推進を図ることを目標に、周知への協力依頼があった。 そこで、均等法のあらましやポジティブアクションのチラシ等を本庁及び支所で配布した。	男女雇用機会均等法やポジティブアクション等の取り組みを周知徹底することは今後も必要である。 商工観光課としては、採用・登用への直接的な取り組みというよりは、チラシの配布やポスターの掲示等をし、広く一般的に認識を深めるための協力を行っている。	—	—	
		(2)自治会や団体などにおける女性リーダー登用の促進	政策課	毎年1回登用状況調査を実施している	男女共同参画の啓発を進めることで、地域・団体に活躍する女性が増えることを期待する。	—	—	
			生活環境課	自治会長 383人中 女性 31人	自治会長に女性になる割合は、数パーセントにとどまっている。	—	—	
	④防災分野における女性参画の推進	(1)防災に関する政策方針決定過程への女性の参画促進	総務課	実績なし	さぬき市防災会議委員への女性の登用を増やす（3名程度）	—	112	
	(10)人材の育成	①エンパワーメントのための学習支援	(1)地域におけるリーダーの育成とネットワークの推進	政策課	実績なし	男女共同参画に関する理解を深め具体的な内容について知ってもらうことで、地域で活躍する女性が増えることを期待する。	—	—
				生涯学習課	女性団体の組織の確立と研修会等を通じて知識の習得に取り組む。（11団体5/12講演会・6/10視察研修会・1/16意見交換会2回・パネル展示作成） 中央婦人学級の研修の実施（11団体：年間26回）	各団体のリーダーやその他の参加者による学習機会の提供により、知識の習得や、コミュニケーションが図られ、リーダー育成やネットワークの推進に繋がっている。平成24年度も工夫した取組を継続する。	委託料・補助金 165	委託料・補助金 165

基本施策	施策の柱	施策の内容	具体的取組	担当課	平成23年度の実績	平成23年度実績を振り返っての感想及び平成24年度の目標	事業費23年度決算額(千円)	事業費24年度予算額(千円)
5 多様な働き方を実現するためのしくみづくり	(11)雇用における男女共同参画の推進	①労働に関する法律・制度などの周知	(1)SOHO、パートタイム労働、派遣労働などに関する情報提供	商工観光課	子育てをしながら就職を希望する人の就職支援を行う「マザーズコーナー」の周知や、ハローワークから週1回提供される求人情報の配布などを行った。	労働に関する情報収集は一般的にハローワークが浸透しているため、市の窓口への直接問い合わせはないが、関係チラシや冊子等の配布は行っている。	—	—
		②就業支援の充実	(1)再就職支援講習会の開催支援	商工観光課	県の期間である「香川県求職者総合支援センター」が実施する出張相談を1回実施。相談者は8人。 日時：平成23年9月7日（水） 10：00～17：00 会場：さぬき市役所本庁 203 会議室 内容：再就職促進と生活安定のため、生活支援策・能力開発・住居確保に関する相談等。 その他、県が実施する再就職支援セミナー等の広報協力を行った。	事前に音声告知放送を行った効果もあり、多くの相談者が利用した。 平成24年度も9月6日（木）に実施する予定になっており、広報や音声告知放送などを活用して、昨年度と同様に多くの利用者呼び掛けたい。	—	—

(12) 商工業・農林水産業などの自営業における男女共同参画の促進	①女性の経営参画の促進	(1) 自営業の女性のエンパワーメントに向けた学習機会の提供	農林水産課	さぬき市生活研究グループ連絡協議会主催の研修会 ・桑採取 (7/14 開催 20 名参加) ・親子料理教室 (8/21 開催 30 名参加) ・地産地消料理講習会 (9/7 開催 27 名参加) ・1 日視察研修 (11/7 開催 31 名参加) ・桑剪定作業 (3/7 実施 25 名参加) ・健康講話開催 (3/7 開催 30 名参加) ・桑粉作業 (年 29 回実施 計 97 名参加)	平成 23 年度と同様に、地域とともに貢献をしていきたい。	225	218	
		(2) 家族経営協定の啓発・普及	農業委員会事務局	認定農業者に戸別相談し、家族経営協定を 2 戸締結した。協定戸数は平成 23 年度末現在で 25 戸になっている。	平成 24 年度は若者が新規に農業をしたいという人が多く、認定農業者の中でも親子で農業をしている家庭に戸別訪問して、チラシ等を配り、一人からでも締結できるよう推進したい。	—	—	
		(3) 女性農業者の地位確立のための相談体制の充実	農業委員会事務局	女性農業委員が 3 名から 2 名に減少した。女性委員に対し集会、交流会への参加案内をした。	女性農業委員 2 名は交流会等に積極的に参加している。今年は合併 10 周年なので女性農業委員には地産地消で何かを作る等して参加協力したい。	—	—	
	②女性の起業に対する支援	(1) 女性の起業に関する情報の収集、提供	農林水産課	桑粉の販売店を増やしていった。また、スイーツマッチングでは、他の菓子業者に桑粉の宣伝をして回った。さぬきうまいもんネットワークでは「ふるさと恵セット」参加起業の申込をした。	平成 24 年度も昨年と同様に桑粉に力をいれて、より販路拡大をするとともに、商品開発に力をいれたい。 ※さぬきうまいもん祭り「食の大博覧会」(12/17・12/18 開催) 県内全域から農林水産物、加工食品、料理、スイーツなどが大集合して約 100 店出店予定。	—	—	
		(2) 女性の起業・自営を支援する講習・講座の開催	農林水産課	農山漁村リーダー交流学習会 (10/27 開催) 全県的なリーダー研修会の事例発表、女性起業家の講演。「農山漁村で成功するコツと秘訣魅せる商品づくりのポイント」の講演 (11/17 開催)	毎年開催されている産地直売所・女性起業セミナー、農山漁村リーダー交流学習会、女性起業家の講演等を今後も積極的に活用していきたい。	—	—	
	(13) 仕事と家庭生活の両立支援	①仕事と育児・介護が両立する環境整備	(1) 育児・介護休暇制度の普及	政策課	パネル展における新聞関連記事の展示	本市における育児・介護休暇制度の趣旨や、制度利用への理解を深めるきっかけとなるよう他団体の先進的な取組等を紹介していきたい。	—	—
			(2) 国、県等の情報提供	政策課	パネル展における新聞関連記事の展示や、児童虐待防止・DV 防止に関するパンフレットの配布	本市における育児・介護休暇制度の趣旨や、制度利用への理解を深めるきっかけとなるよう他団体の先進的な取組等を紹介していきたい。	—	—
		②仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の理解と支援	(1) 企業等へ男女が働きやすい職場環境づくりの啓発	商工観光課	男女労働者の間に生じている差を解消しようとする取り組みである「ポジティブ・アクション」の啓発ポスターの掲示、ワーク・ライフ・バランス推進の啓発冊子を各部署に配布した。	これまで同様、広く一般的に広報を行っていく。また、育児・介護休業法が全面施行されるため、広報に掲載したり、ポスターを掲示したり周知に努める。	—	—
	(2) ファミリー・フレンドリー企業の普及・啓発	商工観光課	実績なし	平成 24 年度も予定なし。	—	—		

基本施策	施策の柱	施策の内容	具体的取組	担当課	平成23年度の実績	平成23年度実績を振り返っての感想及び平成24年度の目標	事業費 23年度 決算額 (千円)	事業費 24年度 予算額 (千円)
6 家庭や地域社会における男女共同参画の推進	(14)子育て支援の促進	①男女がともに支えあう子育ての促進	(1)地域子育て支援センター事業の充実	子育て支援課	市内3保育所(葭池、石田、たらちね)で実施	平成23年度においては当初の予定通り実施できたと考え。24年度においても23年度と同内容での実施に努める。	22,984	24,006
		②地域で支える子育て環境の整備	(1)病後児保育、休日保育の充実	子育て支援課	病後児保育：高松市に委託し、同市立はらこどもセンターで実施 休日保育：志度保育所で実施	平成23年度においては当初の予定通り実施できたと考え。24年度においては、病後児保育については、病児保育と併せてさぬき市民病院で実施し、休日保育については前年度同様志度保育所で実施する。	1,431	12,695
			(2)子育てボランティア等の情報提供と活用促進	子育て支援課	子育て家庭のサポートや各種イベントにおける託児などを行っている子育てボランティアグループ3団体に助成金を交付することにより、その活動を支援した。	平成23年度においては当初の予定通り実施できたと考え。県からの助成金が23年度で終了し、24年度からは市単独による助成となるが、子育てボランティアグループへの支援を23年度と同内容で実施する。	180	180
		(3)ゼロ歳児保育の充実	子育て支援課	市内外各保育所において生後おおむね3ヶ月以上の乳児月平均107名の保育を実施した。	平成23年度においては当初の予定通り実施できたと考え。24年度においても、市内外各保育所において月平均150名(予定)の保育を実施する。	—	—	
		(4)放課後児童クラブの充実	子育て支援課	志度・長尾放課後児童クラブ利用者数71人以上のため、適正な体制(1クラブ40人程度)を目標とし、各第1・第2クラブに分割し、計9クラブにて実施した。	放課後児童指導員を置くことにより、子どもへの情緒面の配慮や安全性の把握等ができるようになった。 平成24年度は、志度・鴨庄放課後児童クラブの移転を実施する。	41,289	43,495	
		(5)ファミリー・サポートセンター事業の充実	子育て支援課	さぬき市ファミリー・サポート・センターを設置し、その運営を市社協に委託した。また、ひとり親家庭等(5件)に対し、同センター利用料の一部(300円/時間)を助成した。	平成23年度においては、当初の予定通り実施できたと考え。24年度においても同センターの運営を市社協に委託するとともに、ひとり親家庭等への利用料の助成も実施する。	3,773	5,288	
		(6)障がい児の学童保育の充実	子育て支援課	障害児を受け入れているクラブに障害専任の放課後指導員を配置した。また当該指導員には、障害に係る研修会を受講させ、質の向上を図った。	専任の放課後指導員を置くことにより安定した学童保育が実施できた。また、各種研修の伝達により職員の資質向上が図れた。平成24年度も引き続き障害児受入推進事業に努めていく。	—	—	
		(7)こんにちは赤ちゃん訪問事業の充実	子育て支援課	民生委員児童委員・主任児童委員による家庭訪問を実施している。支援の必要な家庭に対しては、継続支援を行っている。99%の訪問率。	訪問可能な世帯に対して、できる限りの訪問をしていた。また、必要なケースには、民生委員により、国保・健康課保健師と連携し支援の提供に結びついている。	400	480	
			国保・健康課	保健師・助産師・民生委員との連携を取り、新生児・乳児期における家庭訪問の実施(実数290件)	妊娠届時や出生届時における訪問の必要性を説明し、理解を促し、全戸訪問を目標にする。	765	1,359	
			福祉総務課	生後4か月になる赤ちゃんのいる家庭へ、市から委託を受けた民生委員児童委員または主任児童委員が訪問して、赤ちゃんの誕生をお祝いし、子育てに役立つ情報を届けた。	地区民児協の定例会で、訪問の効果や子育てに関する悩みや不安等についての情報交換を行うことにより、適切な相談及び情報の提供ができるよう努める。	—	—	

(15)介護・介 助支援の促 進	①男女がと もに支えあ う介護サー ビスの整備	(1)介護教室 等の実施	介護保険課	家族介護教室 11回開催 (183人参加)	家族介護者の支援のため必要な 事業であることから、引き続き 実施する。 ・家族介護教室 12回開催予定 (210人参加予定)	95	300
		(2)地域包括 支援センター 事業の充実	介護保険課	・さぬき市地域包括支援センタ ー運営協議会2回開催(委員21 名のうち女性7名) ・認知症サポーター養成講座3 回実施 ・「認知症サポーター養成講座」 の講師役であるキャラバン・メ イトの養成研修を実施(1回) ・地域包括支援センターの事業 内容の普及啓発を広報媒体への 掲載や各種会議における説明に より実施 ・総合相談1,880件 ・権利擁護に関する相談217件 ・総合相談及び権利擁護の相談 のうち認知症に関する相談424 件 ・ケアマネージャーからの相談 258件 ・関係機関との連絡会等14回	・地域包括支援センターの事業 内容の普及啓発により、事業内 容の周知がされつつあることか ら、引き続き事業内容の普及啓 発を積極的に実施する。 ・キャラバン・メイトの養成研 修により新しいキャラバン・メ イトが誕生したことから、認知 症サポーターの養成目標数達成 を目標に引き続き認知症サポ ーター養成講座を実施する。	—	—
		(3)家族介護 支援事業の充 実	介護保険課	家族介護者交流事業 6回開催 (98人参加)	家族介護者の支援のため必要な 事業であることから、引き続き 実施する。 ・家族介護者交流事業 6回開催 予定(120人参加予定)	1,008	1,200
		(4)介護予防 サポーターの 養成と活動支 援	介護保険課	介護予防サポーターの養成講座 1回開催(16人修了) 介護予防サポーターのフォロー アップ研修会49回開催(366人 参加)	フォローアップ研修会を重ね、 介護予防サポーターによる自主 的な地区活動が開始された。24 年度も研修会、地区活動を継続 し、それぞれが介護予防の知 識・技術をステップアップでき るよう支援する。	781	846
		(5)介護施 設・介護保険 サービスの充 実	介護保険課	認知症対応型通所介護及び小規 模多機能型居宅介護の指定候補 者事業所を募集(応募なし) 募集期間：平成23年4月21日 ～5月20日	第5期介護保険事業計画に基づ き、認知症対応型共同生活介護 の指定候補者事業所を募集す る。	—	—
(16)地域活 動などへの 参画促進	①男女共同 参画の視点 に立った地 域活動の推 進	(1)市民との 協働による男 女共同参画推 進活動事業の 推進	政策課	市民企画講座の開催(7団体・全 18回・参加者のべ810人) W EBサイト構築(1団体)	どの団体も積極的に取組み、地 域における推進に効果があった と思われる。平成24年度も企画 事業を募集する。	390	300
		(2)自治会活 動への女性参 画の促進	生活環境課	実績なし	自治会活動への参加はそれなり に行われていると考えられる が、啓発に関しては実施が難し い。	—	—
		(3)自主防災 組織の育成	総務課	実績なし	自主防災組織の組織率を向上さ せるとともに、有事の際、共助 の力が効果的に発揮できるよう な組織作りを推進する。	173	1,000
		(4)ボランテ ィア活動のネ ットワークの 拡大、支援	福祉総務課	5月をボランティア月間として 定め、第3日曜日に「ぼらんて いあ」まつりを開催した。 ボランティアグループへ活動助 成金の交付を行い、各グループ への指導及び助言を行った。 全国及び県で開催されるボラン ティア研修会や交流会に参加し た。(V団体数：57団体)	減少傾向にあるボランティアグ ループ数の増加を図る。また、 平成24年11月に東讃地区で開 催の「香川ボランティア交流集 会」を開催し、ボランティアグ ループの連携を図る。 目標V団体数：60団体	—	—
		(5)男女共同 参画推進情報 スペースの整 備と活用	政策課	整備環境について、利用者や男 女共同参画推進協議会員から意 見を聞いた。また、啓発活動に 役立つ情報(チラシ等)を配置 した。	利用団体からは「空調設備がな く、夏場冬場の利用環境が悪い」 という声が出ている。ハード面 についてすぐに対応というのは 難しいが、利用団体のメリット となる情報等の配置の充実に積 極的に取組みたい。	—	—
		(6)高齢者学 級の活性化支 援	生涯学習課	各公民館で地域の高齢者を対象 に様々なテーマの講習会を行っ た。(市内5公民館で7回実施)	各公民館多くの高齢者の参加が あり、知識の習得などが図られ た。平成24年度も地域の高齢者 を対象に継続する。	300	275

基本施策	施策の柱	施策の内容	具体的取組	担当課	平成23年度の実績	平成23年度実績を振り返っての感想及び平成24年度の目標	事業費 23年度 決算額 (千円)	事業費 24年度 予算額 (千円)
7 高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の実現	(17)保健・医療・福祉サービスの充実	①保健、医療体制の充実	(1)男女が利用しやすい医療体制の整備	市民病院	救急医療の継続、小児夜間急病診察室の継続など性別にとらわれない、年齢に配慮した誰にでも親しみやすい医療体制を構築をする。	新病院での医療を開始したが、これまでの取組を継続していく予定である。	—	—
			(2)医師に関する情報の提供など、医療に関する相談業務の充実	市民病院	ホームページによる医師紹介、地域の自治会からの依頼で開催する「健康出前講座(30回)」や市民病院が主催する「市民公開講座(3回)」を開催し、医師等による講演を実施している。	平成24年度においても引き続き実施することで疾病予防の啓発に努めていく予定である。	—	—
		②福祉サービスの充実	(1)福祉ボランティア活動の支援体制の確立	福祉総務課	シニアライフ応援講座(男の料理・木工工芸)・要約筆記講座・就労支援ボランティア講座・傾聴講座など各種講座を開催し、ボランティアの育成を行った。 防災ボランティア研修を自主防災結成自治会を対象に実施した。 シニアライフ応援講座 男の料理：年4回 木工工芸：年3回 要約筆記講座：年10回 就労支援講座：年2回 傾聴講座：年2回	平成24年度の講座についてレベルアップを図るとともに、ボランティア講座修了後も継続して学習できる機会と受講者が情報交換できる「交流会」を設け、継続的にボランティア活動ができるように支援を行う。 シニアライフ応援講座 男の料理：年4回 木工工芸：年3回 日本語ボランティア養成講座 年10回 障害者支援ボランティア講座 防災ボランティア育成事業 交流会の実施 点字講座・PC講座・ 傾聴講座修了者	—	—
		(2)地域における見守り・支援活動の促進	福祉総務課	小地域の見守り活動を、地域福祉推進委員会を中心として展開し、地域の問題解決に向けて取組み、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる地域づくりを推進した。また、さぬき市いきいきネットの新規見守り活動の一環事業として、1人暮らし高齢者世帯等家具転倒防止用具設置事業を実施し、地震による家具の転倒による人的被害の軽減を図った。172世帯取付	平成24年度は、引き続き、小地域の見守り活動を、地域福祉推進委員会を中心として展開し、地域の問題解決に向けて取組み、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる地域づくりを目指す。特に、地域見守り隊(仮称)を結成したいと考えている。	—	—	
	(18)高齢者への支援	①自立・生きがい支援の充実	(1)老人クラブ活動など高齢者の地域活動の活性化支援	長寿障害福祉課	研修会やスポーツ大会また、児童との世代間交流事業を行う等老人クラブ活動を展開した。老人クラブ会員数 6,585人	老人クラブの会員数は、減少傾向にあるが、地域への老人クラブの活動は、活性化しており、魅力ある老人クラブづくりの取り組みと共に、地域での活動内容の一層の周知も行う。	6,778	6,333
			(2)介護保険制度についての周知・理解促進	介護保険課	制度改正(平成24年4月1日)に基づきパンフレット作成及び広報等による周知。	平成23年度に作成したパンフレットを配布し、介護保険制度を周知する。	534	—
			(3)公的年金制度についての周知・理解促進	国保・健康課	実績なし	—	—	—
(19)障がい者への支援	①ノーマライゼーションの理念に基づいた社会への参画	(1)障がい者を地域全体で支えるしくみ作り	長寿障害福祉課	障がい者団体の自主的な活動を支援し、心のバリアフリーの拡充を図る講演会を開催した。参加者70人。また、重度の障がい者や引きこもりの方も関係地域の方等の支援を受けての新たな事業への参画を図った。(杖のあと等のお土産事業。)	就労支援B型事業所等への、地域での一層の支援体制の構築を図る。また、心のバリアフリーについて、継続した講演会の開催を行う。障がい者団体の自主的な活動についても、継続して支援し、障がい者を地域で支えるボランティア養成講座も多様な講座を開催し、ボランティアの拡充を図る。	—	—	

		(2)障がい者の就労機会の拡大	長寿障害福祉課	大川圏域地域自立支援協議会にて、障がい者の就労についての研修会の開催(月1回)や、企業訪問を行ったり、就労支援事業所を訪問し、就労機会の拡充についての働き掛けをおこなった。就労継続支援B型事業所に職員を配置した。	地域自立支援協議会が平成24年4月から法定化されたことにより、大川圏域地域自立支援協議会ネットワークの拡充と組織のより一層の活性化により、本人の意向と適性に合った雇用の確保を行う。	6,598	250
		(3)障がい者が受診しやすい情報発信の推進	長寿障害福祉課	各種団体の会合にて情報の提供を行った。広報誌への掲載や市窓口へのパンフレットを配布し、情報発信に努めた。	平成23年度と同様に情報発信に努めるとともに、災害時における障がい者への情報伝達体制の構築を行う。	—	—
		(4)障がい者を支援する相談体制の充実	長寿障害福祉課	さぬき市福祉事務所に相談支援窓口を継続して開設した。相談体制のさらなる拡充について、相談支援事業所との協議を行った。	さぬき市福祉事務所に相談支援窓口を継続して開設を行う。障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、サービス利用等計画の作成やモニタリングを行う。また、権限移譲のあった身体障がい者相談員や知的障がい者相談員の周知を行う。	12,502	17,616

基本施策	施策の柱	施策の内容	具体的取組	担当課	平成23年度の実績	平成23年度実績を振り返っての感想及び平成24年度の目標	事業費23年度決算額(千円)	事業費24年度予算額(千円)	
8 あらゆる暴力の根絶	(20)暴力を許さない意識と環境づくり	①暴力の防止に関する法律の周知	(1)啓発パンフレット等の配布	政策課	本庁・各支所・出張所・パネル展・キャンペーンで配布	相談窓口・問い合わせ先についての周知を特にこまめに行っていた。	—	—	
				子育て支援課	街頭キャンペーンを実施し、市で作成したパンフレットや啓発グッズを配布する。相談カードの配布を行う。	街頭キャンペーンを継続して実施する。相談カードの配布や、パンフレットを各支所など窓口を設置する。	275	179	
			(2)暴力の防止に関する法律や制度の周知	政策課	パンフレットの配布やポスター掲示を通して、相談窓口の連絡先を周知	相談窓口・問い合わせ先についての周知を特にこまめに行っていた。	—	—	
				子育て支援課	実績なし	—	—	—	
			②ドメスティック・バイオレンスへの対応と認識の高揚	(1)ドメスティック・バイオレンスを防ぐための意識啓発	政策課	パンフレットの配布やポスター掲示、広報紙を通して、相談窓口の連絡先を周知	キャンペーン(子育て支援課と協力)を通じて多くの方に周知することができた。今後もキャンペーン等を行い、相談窓口・問い合わせ先についての周知を特にこまめに行いたい。	—	—
					政策課	実績なし	子育て支援課と情報交換をしながらよりよい連携を構築していきたい。	—	—
	(2)地域・医療関係・警察・県などとの連携による連絡・救済体制の充実	子育て支援課		警察や香川県子ども女性相談センター等への連携を密にし、協力体制の充実を図った。	相談内容が繊細なため、子ども女性相談センターの指導を受けながら、適切に関わっていききたい。	—	—		
		市民課		住民基本台帳事務における支援措置を行うため、家庭児童相談室、警察等の関係機関と連携を図った。(平成23年度中における支援措置対象者:26名)	住民基本台帳事務における支援措置申出者の保護のため、関係機関と連携を図った。平成24年度においても情報の厳重な管理に努める。	—	—		
	(3)シェルターに関する情報の管理	子育て支援課	香川県子ども女性相談センターと連携し、被害者の安全を守るために一時保護施設についての情報管理を徹底する。	平成23年度同様、適切なケースに適切な内容の情報提供・支援ができるようにする。一時保護施設についての情報管理を慎重に行う。	—	—			
	(4)被害者からの相談実績の把握・分析	子育て支援課	DVに関する相談実績(実人員7件、延件数18件)。助言指導5件、他機関紹介2件。	啓発活動により、相談しやすい環境を整える。	—	—			

③児童虐待の予防・対策の充実	(1)虐待予防のための研修や教育の支援	子育て支援課	さぬき市児童対策地域協議会において、研修会を2回開催。	今年度も研修会を実施し、虐待を発見したときにどう対応できるのか等を中心に学べる機会としたい。	—	40
	(2)児童虐待の予防と早期発見に向けたガイドラインの作成、周知	子育て支援課	予防と早期発見に向け、CATV文字放送・市広報での周知、リーフレット・チラシ・相談カードの配布を行う。子ども自身にオレンジリボン運動の実施。	啓発活動を重点的に行い、子どもから大人を対象にした啓発を行い、虐待の抑止力となるようにしたい。	1,535	2,747
	(3)関係機関との連携によるネットワークの構築	子育て支援課	さぬき市児童対策地域協議会の設置。代表者会・実務者会・個別ケース検討会を実施し、関係機関が連携を持ち児童虐待対応にあたっている。	平成23年度と同様、さぬき市児童対策地域協議会の活動を活発化し、地域の連携で虐待の見守り体制・支援体制を充実する。	—	—
④高齢者に対する虐待の予防・対策の充実	(1)高齢者虐待の早期発見と予防の啓発	介護保険課	平成22年度に引き続き、高齢者の虐待防止、虐待を受けた高齢者や養護者へ速やかで適切な支援を行うことを目的に、「さぬき市高齢者虐待防止・対応マニュアル」を運用した。また、介護支援専門員や民生委員等を対象とし、高齢者虐待防止に関する研修会を実施した。また、啓発活動として、年2回広報に高齢者虐待に関する内容を掲載した。	高齢者虐待の問題の深刻化を防ぐためには早期発見が大切である。予防や早期発見を目的とした研修会を平成24年度も実施し、広報でも呼びかけを行うことで、地域で高齢者の権利を護っていきけるように支援していきたい。	20	30
	(2)関係機関との連携強化	長寿障害福祉課	介護保険課地域包括支援センターからの高齢者虐待のケース会議に出席し、関係者との一層の連携に努めた。また、虐待の早期発見について、民生委員、介護施設との連携に努めた。	平成23年度と同様に取り組みを図る。	—	—
		介護保険課	関係機関等との連携強化、虐待の早期発見・早期対応等を目的とした「さぬき市高齢者虐待防止ネットワーク会議」を年2回開催した。	高齢者虐待の事案は複数の要因が混在しており問題は深刻化していると思われる。予防・発見・対応の各段階で迅速で適切な支援を行うためには、関係機関との連携は不可欠である。今後もスムーズに関係機関との連携を図れるよう、「さぬき市高齢者虐待防止ネットワーク会議」の開催を始め、協力体制を整備していきたい。	52	88
⑤セクシュアル・ハラスメント等への対応と認識の高揚	(1)セクシュアル・ハラスメント及びパワー・ハラスメントを防ぐための意識啓発	政策課	参考資料を関係各課に送付	労働安全衛生担当課（秘書広報課）と情報交換しながら意識啓発に努めていきたい。	—	—
	(2)学校におけるセクシュアル・ハラスメント及びパワー・ハラスメントを防ぐための教職員研修会の実施	学校教育課	年4回ある園長・校長会で、教職員に対するセクハラ、パワハラ防止の研修啓発を行った。また、教職員一人ひとりの言動が、子どもたちに多大な被害や悪影響を及ぼすことなど、深く認識して、人権感覚を磨くよう指導した。	「からだ・いのち・こころ」を守り育てるための支援体制としての指導は、教職員の共通理解を図ること、家庭や地域との連携を推進していくことを目的として、集団指導・個別指導など機会を捉えて取組むように努める。	—	—
⑥加害者への対策	(1)加害者に対する抑止支援方策についての情報収集	子育て支援課	実績なし	担当者会議等により、加害者に対する対策について知識を得る。	—	—

(21)被害者への支援	①被害者の保護・自立支援・相談体制の充実	(1)被害者のための相談業務の充実	子育て支援課	相談窓口の設置をし、家庭児童相談員・女性相談員・保健師で相談に対応。 市広報での相談窓口の啓発、相談専用電話の設置、相談カードの配布などを実施	相談窓口の設置をし、家庭児童相談員・女性相談員・保健師で相談に対応。 市広報での相談窓口の啓発、相談専用電話の設置、相談カードの配布などを実施	2,477	2,567
			介護保険課	電話での相談のほか、必要に応じて自宅訪問を行い被害者と面接をして相談業務を行い、関係機関と連携しながら支援や介入を行った。	高齢者虐待の相談は被害者だけでなく、関係機関や地域の方からも寄せられている。早期に発見し、ケースに応じた対応を行うことが重要である。高齢者虐待の相談窓口として地域包括支援センターが設置されていることを、広く地域に周知する、また、介護支援専門員や民生委員等高齢者と関わる機会が多い関係者に周知し、地域とのネットワークを構築したい。	—	—
		(2)相談窓口に関する情報の収集、提供	政策課	パンフレットの配布やポスター掲示を通して、相談窓口の連絡先を周知	子育て支援課と情報交換をしながら尽力していきたい。	—	—
		(3)相談業務担当者への研修機会の充実	子育て支援課	県等の実施する研修会に積極的に参加	平成24年度同様、研修会への参加。	—	—
			介護保険課	高齢者虐待対応専門職チームが実施している事例検討会や研修会に参加し、相談技術や対応の具体的な流れについて学んだり、高齢者虐待防止に関する研修を開催し、相談業務担当者にも参加いただいた。	被害者の権利をまもるために、必要であったり考えられる支援について、知識を習得するだけでなく、担当者の相談技術の向上は重要である。地域包括支援センター職員への研修や高齢者と身近に関わる関係機関・関係職種を対象とした研修を開催し、相談業務担当者への研修機会の充実を図りたい。	—	—

基本施策	施策の柱	施策の内容	具体的取組	担当課	平成23年度の実績	平成23年度実績を振り返っての感想及び平成24年度の目標	事業費23年度決算額(千円)	事業費24年度予算額(千円)
9 生涯にわたる健康づくり	(22)安心して暮せる社会支援	①年齢・生活様式に応じた健康づくり支援	(1)地域、家庭におけるメンタルヘルスの推進	国保・健康課	心の健康づくり事業健康教育の実施 ・心の健康づくり講演会(自殺予防)を開催(11月)17人 ・こころの相談日の開催(2回) ・パンフレットによる健康教育 ・啓発ポスターの掲示	講演会での啓発とともに、広報などを活用し、心の健康や自殺予防について広く啓蒙啓発する。	57	34
			(2)健康づくり教室の開催	国保・健康課	○予備群リセットセミナーを3日間コースで開催(平成23年9~10月、12月) 31人延66人 ○からだスマイル教室を5日間コースで開催(平成23年6~8月、9~11月、12~2月) 24人延べ99人 ○からだ改善教室を14回コースで開催(平成23年9~11月) 7人延べ63人 ○からだ改善フォローアップ教室を1回開催4人参加	平成23年度は、コース時期の見直し工夫をした。今後も、さぬき市の健診での要指導割合の高い項目に焦点をあてた体験型の講座を継続していく。	129	353
			(3)生活習慣病の予防に関する情報提供	国保・健康課	国保・健康課の窓口や保健センター、検診実施場所での資料提供の場を設置し、啓発ポスターを掲示した。	今後も色々な機会をとらえ、情報提供に努める。	49	58
			(4)基本健康診査の推進	国保・健康課	実績なし	—	—	—

	②薬物・喫煙・飲酒の健康被害に関する教育	(1)喫煙、飲酒、薬物など健康被害に関する情報の提供	国保・健康課	○保健センター・庁舎等の窓口で資料提供の場を設置、ポスター掲示 ○薬物乱用防止推進委員によるキャンペーン、チラシ・パンフレットの配布等で啓発活動を実施（23年度5回） ○ポスター掲示、啓発パンフレット等の資料提供の場を設置	禁煙に対する意識が定着しつつあるため、継続していく。薬物の乱用による危害を周知し、その認識を高められるよう、情報提供に努める。	—	—
(23) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の確立と支援	①生命と性を尊重する啓発、教育の推進	(1)生命と性を尊重する意識の啓発や教育の推進	学校教育課	学校訪問・文書等において、情報の適切な取扱いを指導した。いじめや自殺防止等のパンフレットを各小・中学校に配布した。	生命尊重の教育には、家庭や学校での日々の積み重ねの重要性を感じる。今年度も国や県からの送付されるパンフレットを積極的に活用する。人権教育活動や道徳教育活動の中で、命の重さ、大切さについて指導していく。	—	—
		(2)中学生と乳幼児とのふれあいの機会の充実	国保・健康課	中学校と連携して、赤ちゃんふれあい体験学習を実施（津田中学校生徒・2回実施）	継続実施し、より効果の高い体験学習の機会となるよう事前学習の充実などを図る。	5	7
	②家庭教育における性の尊重	(1)家庭での性指導などに関する保護者への教育・指導の充実	学校教育課	校内の相談窓口の設置として、市独自の事業で「心の教室相談員」9名を委嘱したり、スクールソーシャルワーカーを3名配置したりして、児童生徒だけでなく、必要に応じて教職員や保護者の相談等に対応した。市内6中学校、11小学校で年間を通して（小学校週1回、中学校週3回）の相談事業を実施した。	教員や保護者とは違った立場で相談に応じたり、また学校や家庭との連携をとりながら、問題行動の早期発見や早期解決に努めた。今年度も相談員の資質向上のための研修会を行うなど、さらに充実した事業内容で継続していく。子どもたちへの性教育について、授業を工夫して指導するように促すことや、家庭に対しては、パンフレットや学校だよりなどで啓発をしていく。	10,621	11,730
			生涯学習課	実績無し	実績見込み無し。	—	—
		(2)思春期・更年期・妊娠・家族計画等の情報の収集と提供	国保・健康課	国や県よりリーフレット等の提供があれば、配布または資料提供の場を設置する。	今後も情報提供に努める。	—	—
(24) 女性の生涯にわたる健康支援	①母と子の健康保持	(1)マタニティ教育への男性の参加促進	国保・健康課	父母を対象としたマタニティ教室の開催（平成23年度12回開催）	教室申込時に父の参加を勧奨し、父母ともに満足度の高い教育内容や参加型の教室運営を行う。	67	70
		(2)周産期医療・母子保健医療の充実	国保・健康課	国や県よりリーフレット等の提供があれば、配布または資料提供の場を設置する。	今後も情報提供に努める	—	—
		(3)事業者・男性への母性保護の重要性の啓発	国保・健康課	国や県よりリーフレット等の提供があれば、配布または資料提供の場を設置する。	平成24年度より県から提供された冊子「お父さんの子育てメモリー」を母子健康手帳とともに配布し、活用を勧める	—	—
	②女性の健康対策	(1)女性の健康教育・相談の実施	国保・健康課	○保健センター等で健康相談を実施（芸西23年度38回393人実施） ○子宮頸がんワクチン及び女性特有のがん検診について、中学校において健康教育を開催。（平成23年度受講者数20人）	今後も機会を生かし、広く女性の健康について、健康相談・健康教育を実施する。	194	308
		(2)女性専門外来の設置	市民病院	実績なし	現状の医師数では、設置することは難しく、今後の検討課題としたい。	—	—

(25) 男性の心身の健康支援	①男性の健康対策	(1)男性特有の病気に関する検診など予防対策の推進	国保・健康課	○前立腺がん検診を実施(平成23年度1,421人) ○腹部超音波検査を人間ドック受診者に実施(平成23年度858人)	前立腺がん検診の受診者は、増加傾向にある。今後も予防対策の推進を図る。	1,015	990
		(2)健康に関する知識の習得と男性料理教室の開催	国保・健康課	食生活改善推進協議会(補助金交付団体)が主体となり、男性料理教室を実施する。志度10回、津田10回、大川10回(平成23年度受講者数530人)	料理の基本から学ぶことができるため受講者も多い。自立した健康な男性が増えるよう教室を継続する。	—	—
(26) 職場における健康支援	①職場における健康対策	(1)企業への労働者の健康管理に関する啓発・指導	商工観光課	実績なし	平成24年度も予定なし。	—	—

基本施策	施策の柱	施策の内容	具体的取組	担当課	平成23年度の実績	平成23年度実績を振り返っての感想及び平成24年度の目標	事業費23年度決算額(千円)	事業費24年度予算額(千円)	
10 啓発や相談・救済体制の充実	(27)啓発、相談の支援体制の整備	①男女共同参画に関する啓発活動の支援	(1)活動・情報発信の拠点機能の充実に関する検討	政策課	男女共同参画推進情報スペースの環境について、利用者及び男女共同参画推進協議会員から意見を聞いた。	空調がついておらず、活動拠点であるにもかかわらず、夏場冬場は特に環境が悪いとの意見をいただいた。	—	—	
			②相談支援体制の整備	(1)相談窓口に関する情報の収集、提供	政策課	パンフレットの配布やポスター掲示を通して、相談窓口の連絡先を周知	あらゆる機会において、県・国の相談窓口を積極的に周知していきたい。	—	—
				(2)男女共同参画の視点での各種相談活動の推進と各関係機関との連携・協力	政策課	実績なし	子育て支援課(DV関係)と秘書広報課(セクハラ・パワハラ関係)と情報交換しながら相談窓口の周知徹底を図りたい。	—	—
			(3)人権擁護委員、民生委員児童委員などによる地域における相談体制の充実	人権推進課	人権相談の回数 42回 人権相談の件数 14件 街頭キャンペーン 3回 人権の花(松尾小学校)	体制には問題は無いと思うが、相談件数が少ないのでPRに努める。 人権の花(志度小学校)	60	113	
				福祉総務課	市民のあらゆる問題に対応、又は関係機関に橋渡しをするために、民生委員の協力を得て、心配ごと相談事業の展開を図った。また、相談員としての専門知識や技術の向上を図ることを目的として研修会を開催した。 開催回数:84回 相談件数:25件	民生委員の協力を得て実施している心配ごと相談事業については、相談件数が年々減少している。今後については、日頃の民生委員活動(地域見守り活動)を通して、問題の把握や関係機関への橋渡しを行う。また、市(包括支援センター)、社協及び地域の福祉委員などと連携を図り、問題解決に向けて取り組む。	—	—	

基本施策	施策の柱	施策の内容	具体的取組	担当課	平成23年度の実績	平成23年度実績を振り返っての感想及び平成24年度の目標	事業費23年度決算額(千円)	事業費24年度予算額(千円)
11 プランの推進・評価体制の整備	(28) 推進の制度・組織の整備	①市民・事業者・行政の連携	(1)男女共同参画に関する条例の制定及び普及・啓発	政策課	条例の基本理念を意識した男女共同参画セミナーの開催	条例を周知するだけでなく、第3条に掲げている基本理念を広げるための啓発活動を行った。平成24年度も条例を活用した活動を続けていきたい。	—	—
			(2)男女共同参画推進員制度(仮称)の創設	政策課	実績なし	男女共同参画推進協議会委員及び本市選出のかがわ男女共同参画推進委員が事業の実施に大きくかかわっているので、継続させたい。	—	—
			(3)国・県及び市民団体等との連携強化	政策課	県主催の会議、本市で男女共同参画の推進活動をしている市民団体の総会への出席	各種会合における情報交換や事業の共同実施などを通じて、連携を強めていきたい。	—	—

		②庁内推進体制の充実	(1) 本プラン全体の総括と課題の抽出	政策課	実績なし	まずは、平成 23 年度進捗調査の結果に注目したい。	—	—
			(2) 男女共同参画推進本部機能の充実	政策課	実績なし	平成 23 年度進捗状況調査の結果を報告し、意見をもらう。	—	—
(29) 点検・評価の仕組みの整備	①男女共同参画推進協議会による点検・評価	(1) 男女共同参画推進協議会の活用	政策課	男女共同参画週間パネル展、講演会、セミナーでは、スタッフとして協力いただいた。	各種事業の準備、当日のスタッフとして尽力いただいた。また、協議会において事業の総括を行った。今後も引き続き委員に様々な協力を依頼する。	—	—	
		(2) 本プランの進捗状況の調査と点検・評価の実施	政策課	男女共同参画推進協議会において、進捗状況調査の内容について協議した。	平成 24 年度は、平成 23 年度の進捗状況調査の結果を協議会で議論する。	—	—	

「さぬき市男女共同参画プラン後期計画」基本施策に係る各目標の進行状況

1 男女共同参画の視点での社会制度・慣行の見直し

項目	担当課	現状値 (平成20年度)	平成23年度	目標値 (平成25年度)
「社会全体における男女の平等感」について「平等」とする市民の割合を増やします。	政策課	15.8%	—	25.8%

2 男女平等の視点に立った教育・学習の充実

項目	担当課	現状値 (平成20年度)	平成23年度	目標値 (平成25年度)
男女共同参画に関する生涯学習講座を開催します。	生涯学習課	2回/年	2回/年	3回以上/年
「地域社会における男女の平等感」について「平等」とする中学生の割合を増やします。	政策課	52.2%	—	62.2%

3 男女の人権が尊重される社会の実現

項目	担当課	現状値 (平成20年度)	平成23年度	目標値 (平成25年度)
固定的役割分担意識をなくし男女の人権を尊重する啓発パンフレットを作成し、普及を促進します。	政策課	未	未	作成・運用
	人権推進課	未	作成・運用 事業者の皆さんへ（男女共同参画社会の実現）	作成・運用
男女の人権尊重をテーマとした学習講座を開催します。	人権推進課	1回/年	1回/年	2回以上/年

4 政策方針決定過程の場への女性の参画拡大

項目	担当課	現状値 (平成20年度)	平成23年度	目標値 (平成25年度)
行政機関、付属機関等に占める女性の割合を増やします。	政策課	27.2%	23.6%	32.2%
市職員の女性管理職の割合を増やします。	秘書広報課	4.8%	4.9%	10%

5 多様な働き方を実現するためのしくみづくり

項目	担当課	現状値 (平成20年度)	平成23年度	目標値 (平成25年度)
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けた講座を開催します。	政策課	未	1回/年（講演会）	1回以上/年
家族経営協定の締結戸数を増やします。	農業委員会事務局	20戸	25戸	30戸

6 家庭や地域生活における男女共同参画の推進

項目	担当課	現状値 (平成20年度)	平成23年度	目標値 (平成25年度)
育児・介護に関する講座を定期的 に開催します。	子育て支援課	未	未	1回以上/年
	介護保険課	未	<ul style="list-style-type: none"> ・家族介護教室 11回開催 ・介護者交流事業 6回開催 ・介護予防サポーターの養成講座 1回開催 ・高齢者虐待防止に関する研修会 1回開催 	1回以上/年
ファミリー・サポートセンターの登 録会員数を増やします。	子育て支援課	102人	240人	300人

7 高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の実現

項目	担当課	現状値 (平成20年度)	平成23年度	目標値 (平成25年度)
「高齢者が安心して暮らせる条件」 について「満足できる」「やや満足 できる」とする市民の割合を増やし ます。	政策課	27.6%	—	37.6%

8 あらゆる暴力の根絶

項目	担当課	現状値 (平成20年度)	平成23年度	目標値 (平成25年度)
あらゆる暴力の防止に関する啓発 パンフレット・リーフレットを配布 します。	政策課	1回/年	3回/年	2回以上/年
	子育て支援課	1回/年	2回/年	2回以上/年
相談・カウンセリングの窓口に関す る情報を収集し、発信します。	政策課	1回/年	3回/年	2回以上/年

9 生涯にわたる健康づくり

項目	担当課	現状値 (平成20年度)	平成23年度	目標値 (平成25年度)
マタニティ教室への男性の参加率 を増やします。	国保・健康課	4.0%	3.8%	10%

10 啓発や相談・救済体制の充実

項目	担当課	現状値 (平成20年度)	平成23年度	目標値 (平成25年度)
市民の相談に関わる立場の人を対 象に男女共同参画についての研修 会を開催します。	政策課	1回/年	未	1回以上/年

11 プランの推進・評価体制の整備

項目	担当課	現状値 (平成20年度)	平成23年度	目標値 (平成25年度)
男女共同参画プランの進捗状況を 点検・評価する体制をつくりま す。	政策課	未	未	設置

さぬき市男女共同参画プラン後期計画
推進施策の実施状況及び基本施策に係る各目標の進行状況
(平成23年度)

さぬき市総務部政策課

〒769-2195

さぬき市志度5385番地8

TEL 087-894-1112

FAX 087-894-4440

E-mail seisaku@city.sanuki.lg.jp